

6 計画の振り返り

前計画では、「みんなが自分らしく 安心して つながりをもって 暮らし続けられるまち ー支え合い 認め合い ともに暮らすー」とした将来像に向けて、3つの重点施策を掲げて下記のとおり進めました。

今後の会議で提示

7 調布市の地域福祉に関する課題

第4章の1～6までの状況を踏まえた課題は、下記のとおりです。

課題の整理は、計画の振り返りを踏まえて行うため、市民福祉ニーズ調査から得られたまとめを暫定的に掲載し、基本目標（案）に対する施策（案）のイメージとして、仮に現行計画の関連する施策を基本として記載しています。

今後、計画の振り返りの結果を踏まえて改めて提示します。

市民福祉ニーズ調査のアンケート調査，住民懇談会から見えた課題（重複あり） 市＝市民，高＝高齢者，障＝障害者，懇＝住民懇談会	次期計画の目標（案）	現行計画の施策
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（1）健康づくり，介護予防活動を支援する取組が必要である ● 高（4）介護者の心身の負担を軽くするための環境づくりが必要である ● 高（5）高齢者への早い時期からの認知症予防の働きかけが必要である ● 高（1）病気や障害をもちながら在宅で暮らす人のQOL（生活の質）を高める取組が必要になる ● 障（5）障害児・者の家族・介護者を支援するため，多くの分野や地域との連携が必要である 	→	目標Ⅰ 安心した暮らしと社会とのつながりがもてる地域づくり 介護予防や生活支援サービスの充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（5）災害時に住民同士で支え合いができる防災対策を推進する必要がある ● 障（6）災害時への備えの徹底と，避難が困難な状況の障害者等を支援する体制の強化を図る必要がある 	→	防犯・防災等の安全なまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（1）健康づくり，介護予防活動を支援する取組が必要である ● 障（1）病気や障害をもちながら在宅で暮らす人のQOL（生活の質）を高める取組が必要になる 	→	医療と介護の連携
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（3）社会参加，趣味・生きがいづくりへの支援が必要である 	→	多様な参加と活躍の促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（6）相談窓口の認知度向上とアウトリーチ活動の充実が必要である 	→	地域での相談支援

市民福祉ニーズ調査のアンケート調査，住民懇談会から見えた課題（重複あり） 市＝市民，高＝高齢者，障＝障害者，懇＝住民懇談会	次期計画の目標（案）	現行計画の施策
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（２）地域での支え合いの仕組みづくりを推進する必要がある 	→	地域活動団体や関係機関，行政等の多様な主体の連携・協働の仕組みづくり
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（６）多様性を認め合う意識を育む必要がある ● 懇（３）地域の資源の活用をはじめとして，多様な方法で情報を発信する必要がある 	→	多様なメディアを生かした情報提供の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（５）高齢者への早い時期からの認知症予防の働きかけが必要である 	→	誰もが利用しやすい権利擁護の推進
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（３）複雑化・複合化した課題を抱えている世帯や個人を包括的に支援する体制を構築する必要がある ● 市（２）地域での支え合いの仕組みづくりを推進する必要がある 	→	罪を犯した者等への社会復帰支援
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（２）多様な主体による見守りと支え合いの輪を広げる取組が必要である ● 高（３）社会参加，趣味・生きがいがづくりへの支援が必要である 	→	地域福祉活動を担う新たな人材の発掘と養成
<ul style="list-style-type: none"> ● 高（２）多様な主体による見守りと支え合いの輪を広げる取組が必要である 	→	ボランティア活動の促進
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（２）地域での支え合いの仕組みづくりを推進する必要がある ● 高（２）多様な主体による見守りと支え合いの輪を広げる取組が必要である ● 懇（２）誰もが活動しやすく，参加しやすい地域の居場所の充実が重要である 	→	地域活動の中心となる地域組織との連携による住民活動の活性化
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（２）地域での支え合いの仕組みづくりを推進する必要がある ● 高（２）多様な主体による見守りと支え合いの輪を広げる取組が必要である ● 高（４）介護者の心身の負担を軽減するための環境づくりが必要である ● 障（５）障害児・者の家族・介護者を支援するため，多くの分野や地域との連携が必要である 	→	見守りネットワーク（みまもっと）等による見守り・支え合い体制の充実
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（１）身近な居場所の充実を図る必要がある ● 高（３）社会参加，趣味・生きがいがづくりへの支援が必要である ● 障（３）地域資源を活用し，障害児・者が居場所（サードプレイス），余暇・スポーツ活動の機会を増やす取組が必要である ● 懇（１）住民主体の交流活動の場の構築を支援する必要がある 	→	地域サロンの開催等による地域交流や世代間交流の促進

市民福祉ニーズ調査のアンケート調査，住民懇談会から見えた課題（重複あり） 市＝市民，高＝高齢者，障＝障害者，懇＝住民懇談会
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（１）身近な居場所の充実を図る必要がある ● 障（３）地域資源を活用し，障害児・者が居場所（サードプレイス），余暇・スポーツ活動の機会を増やす取組が必要である ● 懇（２）誰もが活動しやすく，参加しやすい地域の居場所の充実が重要である
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（４）福祉のまちづくりを推進する必要がある ● 市（６）多様性を認め合う意識を育む必要がある ● 高（３）社会参加，趣味・生きがいづくりへの支援が必要である ● 障（４）病気や障害への理解を深め，共生社会に向けた気運を高める必要がある
<ul style="list-style-type: none"> ● 市（３）複雑化・複合化した課題を抱えている世帯や個人を包括的に支援する体制を構築する必要がある ● 高（６）相談窓口の認知度向上とアウトリーチ活動の充実が必要である ● 障（２）障害児・者が地域で暮らし続けるため，多様な住まいの確保や心身の障害に合わせた地域包括ケア体制の強化が必要である ● 障（５）障害児・者の家族・介護者を支援するため，多くの分野や地域との連携が必要である



次期計画の目標（案）	現行計画の施策
	身近な地域交流拠点の充実
	学校教育や生涯学習と連携した，福祉教育の推進
目標４ ための包括的な支援体制づくり	複合化した地域課題を解決するための体制づくり



第5章 計画の基本方向

1 基本目標

基本目標1 安心した暮らしと社会とのつながりがもてる地域づくり

基本目標2 地域共生社会の基盤となる地域福祉のネットワークづくり

基本目標3 住民が主体的に参加する支え合いの地域づくり

基本目標4 地域生活課題を解決するための包括的な支援体制づくり

2 重点施策

重点施策1 地域におけるトータルケアの推進

重点施策2 住民主体の地域における支え合いの仕組みづくり

重点施策3 地域が一体となった災害対策の推進

第6章 地域の状況（8つの福祉圏域）

- 1 緑ヶ丘・滝坂小学校地域
- 2 若葉・調和小学校地域
- 3 上ノ原・柏野小学校地域
- 4 北ノ台・深大寺小学校地域
- 5 第二・八雲台・国領小学校地域
- 6 染地・杉森・布田小学校地域
- 7 第一・富士見台・多摩川小学校地域
- 8 第三・石原・飛田給小学校地域

第7章 計画の推進に向けて

- 1 協働による計画の推進
- 2 計画の周知・普及
- 3 計画の進行管理・評価

資料編